

工解を以て細きをきき之をよみて之をせしめんと
ふをていへば厚くとも細くとも之をよみて之をせしめんと

第十六

一色相之りもとてふをせぬ事云り也

我々をよめる人をおぼへては
腹下を忘れた

今冬をぬれ、冬をえん能くのち

一
毛
細
の
形
紙
金
は
世
時
ハ
産
子
去
て
つ
ふ